

# 令和2年7月豪雨、 災害状況を お知らせします



## 記録的な局地的豪雨

7月3日から11日にかけて、熊本県や鹿児島県を中心に、九州各地で集中豪雨による災害が起きました。

熊本県では球磨川が氾濫し、川沿いの住居や施設が軒並み浸水。住宅に流木や土砂が流れ込むなど、甚大な被害を受けました。

鹿児島県においても、鹿屋市で観測史上初となる72時間雨量が754ミリメートルを記録するなど、県内各地で被害が多発しました。

## 大崎町でも甚大な被害が

大崎町では、7月3日から11日までの雨量が843ミリメートルを記録し、7月6日には1時間雨量62ミリメートルを記録しました。

この豪雨により、三文字周辺の住宅や事業所などが浸水被害を受けました。7月30日現在において、町内で床上浸水が17棟、床下浸水が15棟となっています。

野方地区の大佐土原地域では、豪雨により道路が寸断され、孤立した4名の方々が防災ヘリによって救助されました。